

芸  
凡  
研  
究  
会

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

NO. 124

1962. 12月(1963. 1月10日)

録 事

12月2日 須磨水族館で近畿四国地区の水族館研究会が開催され、管館より荒瀬  
研究員参加。

12月4日 内海委員は本月はじめより病気のため白浜温泉病院に入院、一日も早  
く全快をお祈りする。

12月7日 東北大学助手第五次南極越冬隊員松田達郎博士を招待「南極越冬と南  
極の生物についての興味ある講演と8ミリ映画の会を開く。来会者約 名で盛会であ  
った。

12月20日 恒例の忘年会を大浦荘で催した。

# 業 務 概 況

◎ 12月の入場者数

区 分	大 人	中 人	小 人	合 計
水族館発売 個人	5953	58	230	6241
団体	5570	—	—	5570
交通公社発売	4350	—	—	4350
近畿日本ツツツ発売	107	—	—	107
日本旅行会発売	16	—	—	16
日通観光発売	39	—	—	39
明光バス発売	10216	—	148	10364
合 計	26251	58	378	26687
累 計	523457	1828	15451	540736
無 料	施設見直し		344	1032
団 体	一般	52組, 学生	0組, 合計	52組

◎ 12月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1,196,549	15,315,048
窓 口 発 売	332,920	6,803,433
交通公社クーポン	116,001	1,761,190
近畿日本ツツツクーポン	3,021	133,372
日本旅行会クーポン	444	32,072
日通観光クーポン	1,053	5,451
明光バス観光券	743,110	6,579,530※
予金・積立金利子	19,164	78,988
手 数 料	112,886	473,770
絵 は が き 拵 下	15,480	517,050
パンフレット拵 下	—	58,950
南極生物報告拵 下	400	2,230
魚 類 拵 下	100	20,500
雑 収 入	498	29,826
諸施設改善積立金より繰入	9,167	455,156
災害資金より繰入	—	168,760
合 計	1,354,244	21,216,689

※ 明光バス観光券未収分

大人券	12246枚
小人券	156枚
	(92)

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	645,887	2858,336	期末勤劬手当他
会議費	6,700	103,449	
備品費	1,400	780,040	
消耗費	91,054	1,088,866	
事業費	162,375	1,044,845	
維持費	35,259	703,240	熱帯魚置水槽展示台他
其他諸費	83,386	1,334,139	松田氏接待他
積立金	136,726	2,748,635	
予備金	—	—	
合 計	1,162,823	10,661,550	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研究費	30,770	122,630	布控委員、松田達郎氏招聘
奨学金	10,000	113,480	
備品費	35,500	38,150	図書
消耗費	—	—	
刊行費	—	351,900	
役務費	19,828	867,544	官舎裏外灯工事他
合 計	96,098	1,493,704	

伝物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	—	33,120	
備品費	—	—	
消耗費	—	—	
役務費	—	—	
合 計	—	33,120	

炬 時 費

摘 要	金 額	累 計
自家用電機接続工事	9,167	
合 計	9,167	4725,987

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	1,162,823	10,661,550
実験所経費	96,098	1,493,704
伝物館経費	—	33,120
炬 時 費	9,167	4,725,987
合 計	1,268,088	16,914,361

(93)

◎ 12月末現在高

前月よりの繰越	42,161,72
今月の収入合計	1,354,244
今月の支出合計	1,268,088
<u>現 在 高</u>	<u>4,302,328</u>

◎ 前年度との比較

	1961	1962	増 減
入 場 者 数	24774	26687	1913

## 水族館記事

- ◎ 8日 堺浦より、今冬始めてエビスダイ 1個体が入。E水槽へ収容した。
- ◎ 同日 湯崎沖でエビ網にかかったモンガラカワハギ 1個体が入ったが、水圧の変化による異常ガスがうまく抜気できず、12日に死亡
- ◎ 9日 日東航空白浜営業所よりウミヘビ 1個体を受贈。E2水槽へ収容
- ◎ 11日 G水槽のタカアシガニ 1個体が死亡。これまでの死亡個体同様肉質は着るしく減っていたが、発眼した卵をもつていた。
- ◎ 同日 辻本熱帯魚店よりクダツツ 7個体、熱帯淡水魚6種が入槽
- ◎ 13日 標本室出口北側の熱帯淡水魚槽(TF1~5)はこれまで鉄脚の台で展示していたが、この台では、背景や飼育用具を置く余裕が全くなかったため、カウンター式の本製台に替え、水槽裏の設備も改良した。
- ◎ 同日 堺浦より今冬始めてタカアシガニ 1個体が入ったが、歩脚の半数が脱落しており、元気もよくない。
- ◎ 14日 先月から強制給餌を続けていた No.12水槽のアンコウに生きたメジナを与えたところ、本種特有の索餌行動を示し、自力で捕食するようになった。
- ◎ 18日 淡路島岩屋よりコブダイ メバル アイナメ 等が入槽。ゴスダイ 7個体は何れも1月に入つたものより小さいが、餌付きはよく、H水槽の人気を兼ねている。なお、ゴスダイの体表に寄生していたゴペポードは、ネグボン、硫酸銅浴(前月号資料参照)で駆除した。
- ◎ 22日 瀬戸よりテングハギ 1個体が入槽。前頭部の角がよく発達した成魚であったが、入網時の擦れがひどく、25日に死亡
- ◎ 26日 雑賀崎一本釣漁師より大ダイ (70 cm 4.1 kg)を購入、H水槽へ収容
- ◎ 同日 博物館で、この春から飼育していたピラニア 1個体は購入当時の約1.5倍(8 cm)になつたので40ℓ入り淡水槽を新設し展示した。これで熱帯淡水魚槽はTF1~6の6槽となつた
- ◎ 28日 堺浦のトロール漁船南運丸に便乗して深海性水族を採集し、ウチワエビ チカメキントキ クルマダイ 等が入槽した。
- ◎ 29日 タカアシガニ 1個体が死亡。長期の飼育でかなり衰弱していたところへ13日に新たに入つたが、交尾のためつかまえて高さず、体力を消耗しつくしたものと思われる。この日も翌30日に死亡し、生存数は81個体とな(95)

つた。

◎ 29~31日 正月をひかえて、旧館全水槽と新館の一部を大清掃した。

◎ 1962年、ことにその後半は、白点病の対策に明け暮れたが、これまでに記載した種々の対策がかなり効果をあげ、今月末の収容魚類は従来の最高(181種)を記録できた。とはいえ、No.23, A, B, E, Kの各水槽では、まだ発病が続いており(症状は、水温が低い(13.9℃)ため慢性化している)来春の水温上昇期には特別な注意が必要となろう。

◎ 12月の採集作業

日時	採集場所	方法	人数	主な目的
10日午後	江津良海岸	磯採集	1名	タテジマイリギンヤク
27日 "	動物園下の磯	タフトール採集	3	ギンユゴイ
" "	塔島東側	潜水	2	ウミトサカ、ヤギ類
28日 "	円月島前の磯	磯採集	2	フジボ・カメノテ類
28日終日	田辺湾口~江住沖	トロール船便乗	1	ウチワエビ

◎ <sup>採集</sup>主な水族類名

魚類：ノコギリサメ チカメキントキ フルマダイ ギンユゴイ ハクソボ  
モンキアマミ スズメダイ ホシソメフケベラ ハコフグ

無脊椎動物：オトゲトサカ キイロトゲトサカ ウミキノコ アカヤギ ハナヤギ カメノテ  
フロソジツボ オトヒメエビ ウチワエビ ヒロハウチワエビ コシマガニ マツバガニ  
ヒメコウイカ ベニキヌツツミ タテスジリュウグウウミウシ ウミシダ アヤウミシダ

◎ 主な購入水族名

魚類：アルジーイーター シルバーシャーク シノドンナス メネニス ペロネリックス  
(以上淡水) ナヌカザメ カスザメ ウシエイ シビレイ サビウツボ オキノシマウツボ  
コリウツボ クダツツ エビスダイ イトウダイ ツムブリ ハマフエフキ マダイ  
ミギマキ コブダイ キンヤクダイ テングハギ モンカラカワハギ セシホウボウ  
無脊椎動物：タカアシガニ ヤマトカラツハ ホシマンザユウガニ ハナシヤコ ヒトエガイ  
ニシキウミウシ イシマフクロウニ アオヒトデ オオアカヒトデ

◎ 12月31日現在、飼育中の動物は、総計368種 4,690個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は365種 4,450個体以上。

(96)

ヒドロ虫類	1種	フシカメノテ類	4種	ウミシダ類	5種
ウミトサカ類	8種	エビ類	15種	ヒトデ類	10種
ヤギ類	6種	ヤドカリ類	5種	クモヒトデ類	2種
ウミエラ類	1種	カニ類	28種	ウニ類	15種
イリギンナク類	10種	アメフラシ類	4種	ナマコ類	7種
イシサンゴ類	13種	二枚貝類	13種	ホヤ類	5種
ハナギンナク類	1種	巻貝類	22種	軟骨魚類	13種
ホウキムシ類	1種	ヒザラガイ類	1種	硬骨魚類	168種
多毛類	3種	イカ類	2種	爬虫類	4種
カブトガニ類	1種	タコ類	1種		

## 資 料

### ◎ 12月の気象 (09時観測)

#### 第1水槽室 (水温・比重・は No 24水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数：23	7	7	9
室 温 (°C)	$\frac{12.0 \sim 14.5}{13.1}$	$\frac{11.5 \sim 16.5}{13.3}$	$\frac{12.0 \sim 18.0}{13.8}$
水 温 (°C)	$\frac{15.44 \sim 18.42}{16.76}$	$\frac{15.42 \sim 18.00}{16.64}$	$\frac{15.42 \sim 16.62}{16.09}$
比 重 (°15)	$\frac{25.33 \sim 25.85}{25.63}$	$\frac{24.21 \sim 25.70}{25.17}$	$\frac{25.04 \sim 25.83}{25.54}$

#### 新 館 (水 温)

H 水槽 (°C)	$\frac{15.8 \sim 17.7}{16.7}$	$\frac{16.2 \sim 18.5}{17.0}$	$\frac{15.7 \sim 17.0}{16.2}$
T8 水槽 (°C)	$\frac{16.0 \sim 17.8}{16.8}$	$\frac{16.3 \sim 19.4}{17.2}$	$\frac{15.8 \sim 17.0}{16.3}$

取 入 口

水 温 (°C)	$\frac{16.06 \sim 18.00}{17.30}$	$\frac{15.60 \sim 18.82}{17.19}$	$\frac{15.60 \sim 17.20}{16.33}$
比 重 (25°C)	$\frac{24.68 \sim 25.96}{25.54}$	$\frac{25.47 \sim 25.78}{25.55}$	$\frac{25.11 \sim 25.74}{25.53}$

昭和38年1月10日 (NO. 124)

編集兼  
発行者

宮 地 伝 三 郎

発行者

瀬戸臨海実験所振興会  
和可山県 白浜町  
瀬戸臨海実験所内  
(Tel. 白浜温泉 515)